

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：総務管理費 目：広報費

事業名 清流の国ぎふ戦略広報費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

知事直轄 広報課 報道係 電話番号：058-272-1111 (内 2075)

E-mail：c11103@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,810 千円 (前年度予算額：11,810 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,810	0	0	0	0	0	0	0	11,810
要求額	11,810	0	0	0	0	0	0	0	11,810
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

アフターコロナ時代の新たな社会・経済を創るため、「岐阜県DX推進計画」策定の検討を進めており、2022年度は県のあらゆる分野の政策についてデジタル化の観点から幅広く施策を推進していく必要がある。

広報施策についても同様であり、これまでも大都市圏メディアに加えてWebメディアを活用し、効果的な情報発信を行ってきたところであるが、来年度も訴求効果の高いインスタグラム、ツイッターといったSNS等のWebメディアを活用するとともに、広報効果の把握のためWeb広告を利用した閲覧者情報の把握を行い、DXの推進に繋げていく。

(2) 事業内容

全部局を対象とした県独自の取組み・重点政策等を、PR会社を活用して、あるいは、メディアとの直接交渉により、大都市圏メディアでの掲載及びWebメディアにおける情報配信を実施する。また、Web広告を利用した閲覧者情報(年代、性別、居住地等)の把握を行う

- ①メディアへのコンタクト活動 (情報提供、ヒアリング、交渉等)
- ②メディアへの掲載・配信に向けたフォローアップ (現地取材の企画・調整)

及び同行、オピニオンリーダー、インフルエンサー等の選定、メディア用
配信資料等の制作等)

③Web 広告の掲載と閲覧情報の把握

(3) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査会経費
旅費	32	プロポーザル審査会経費
委託料	11,746	メディアへのコンタクト活動・フォローアップ、Web 広告
合計	11,810	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

県政策や本県の魅力を大都市圏メディアや Web メディアを通じて発信する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標	
						達成率
大都市圏メディア等への掲載件数	—	年 239 件	年 450 件	年 450 件		%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ PR 会社を活用し、美濃和紙をはじめとした県の魅力や、岐阜関ヶ原古戦場記念館など武将観光に関する県政策の発信を、全国に読者を持つ雑誌やメディアへの掲載を通じて実施。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、PR のスタートが遅れたものの、適切な媒体を選択することにより、重要政策等について時期を逸することなく、効果的に発信をすることができた。
令和3年度	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
令和4年度	<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	令和4年度は、リスタートする観光誘客の促進など、アフターコロナを見据えた岐阜県の魅力発信は重要事項であり、時期を逃さず、県外への広報を行う必要がある。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より露出の時期が遅れているが、雑誌掲載は人気インフルエンサーやオピニオンリーダーを起用した2件の掲載を予定しており、また、オンラインメディアの掲載は、9月時点で50件以上掲載済であることから一定の成果が見込めている。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	Web会議等の活用により適時適切に打合せを行い、事業の進捗を図るとともに、ターゲット媒体やテーマの選定を事前に行うことで、効率的に実施している。

(今後の課題)

全国的に自治体によるメディアPRが激化するなか、本県の魅力を全国に発信するため、十分な差別化を図り、ターゲットに響く情報発信を行う必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・Webメディアを活用した大都市圏広報を実施 ・Web広告を活用した閲覧者の情報把握

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	